Early Music Series
古楽の愉しみ

情熱と魂のこもったベートーヴェン
―英bachtrack 2023年ザルツブルク音楽祭の批評より

BEETHOVEN 200th
ベートーヴェン没後200年プロジェクト

古楽器で聴く「運命」

ジョルディ・サヴァール指揮／ル・コンセール・デ・ナシオン

“音楽界のノーベル賞”に輝く、古楽の巨匠
（エルンスト・フォン・ジーメンス音楽賞）

世界屈指の古楽オーケストラ



ベートーヴェン：
Ludwig van Beethoven

交響曲 第3番「英雄」
Symphony No.3 in E flat major, op.55 “Eroica”

交響曲 第5番「運命」
Symphony No.5 in C minor, op.67

鮮烈！欧州で賞賛の嵐！
比類なきマエストロと古楽の精鋭が放つ
衝撃のベートーヴェン、日本初上陸！

Le Concert des Nations, conducted by Jordi Savall

2027 6/5（土）2:00PM 開演（1:15PM 開場）

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ／JR西宮駅より徒歩15分（阪急バス7分）

A 13,000円 B 11,000円 C 9,000円 D 7,000円 E 5,000円（全席指定／消費税込）

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255（10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日）

兵庫県立芸術文化センター

一般発売 11/22（日）

チケット予約
●芸術文化センター 0798-68-0255 https://www.gcenter-hyogo.jp
●チケットぴあ https://pia.jp/t/ ●ローソンチケット https://l-tike.com ●イープラス https://eplus.jp

芸術文化センター会員先行予約受付開始 11/20（金）

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター【11/23（月・祝）より、残席がある場合のみ】

※車いす席はお電話でのみ販売しております。※未就学児童はご入場いただけません。※プレイガイドでの取扱いについては、各プレイガイドにお問い合わせください。
※やむを得ない事情により出演者、曲目が変更となる場合があります。予めご了承ください。

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

関西から 文化力 POWER OF CULTURE

没後200年に出会う、新たなるベートーヴェン



スペインが生んだ**古楽の大家ジョルディ・サヴァール**、85歳。ここ芸術文化センターでは過去、ヴィオラ・ダ・ガンバの名手として圧巻の演奏を披露したが、今回は指揮者として登場する。

彼が率いる**世界屈指の古楽オーケストラのひとつ、「ル・コンセール・デ・ナシオン」**は、待望の初来日。彼らは**作品が書かれた時代の様式に基づくオリジナル楽器(古楽器)**を用い、バロックからロマン派まで高く評価される。中でも近年録音したベートーヴェンの交響曲全集は、**作品の精神を深く追求しながらも、現代に新鮮な衝撃をもたらす**ものであり、大きな熱狂と賞賛を巻き起こした。

今回演奏するのは、ベートーヴェンの創作における黄金期——いわゆる**“傑作の森”にそびえ立つ2作だ**。並々ならぬ情熱と探究心が注ぎ込まれた交響曲第3番「英雄」。そして、緊密な構成の中、“苦悩、闘争から歓喜へと至るベートーヴェンの精神”が表れる第5番「運命」。いずれも音楽史を塗り替えた、極めてエポックメイキングな交響曲である。

彼らが古楽オーケストラでアプローチするのは、これらの名曲に内包された“新時代への高揚感”だ。モダン・オーケストラによる重厚な響きとは一線を画し、音楽はどこまでもエッジが効いていて、鮮やかだ。

彼らが奏でる古楽器は、ガット弦による弦楽器の素朴で豊かな響き、管楽器のニュアンス豊かな音色、そしてティンパニの鋭いアクセントなどが特徴。それぞれの楽器が明瞭に粒立ち、**音楽が驚くほど立体的**に浮かび上がる。そして**推進力に満ちたテンポが生む疾走感と迫力**に、聴き手はたちまち胸を躍らせるだろう。

没後200年の節目に、**現代の私たちが聴き慣れたベートーヴェンとは一味違う**「当時、最先端の音楽」を追体験する特別なとき。一期一会のベートーヴェン、出会うなら今だ。

ジョルディ・サヴァール[指揮]
Jordi Savall, Conductor

演奏家、教育者、研究者、そして新たな音楽・文化プロジェクトの創設者として幅広く活動し、歴史的音楽の再評価を牽引する世界的存在として知られる。モンセラート・フィゲーラスとともにエスペリオンXXI(1974年)、ラ・カペラ・レイアル・デ・カタルーニャ(1987年)、ル・コンセール・デ・ナシオン(1989年)を創設した。さらに近年、若い古楽奏者の育成を目的としたジョーヴェ・カペラ・デ・カタルーニャ(2017年)、古典派およびロマン派の大規模な合唱作品に取り組むラ・カペラ・ナシオナル・デ・カタルーニャ(2020年)を設立している。加えて、移民音楽家のための交流と創造の場である「オルフェウス21」(2018年)や、バロック音楽における女性演奏家の歴史的役割に光を当てる女性のみのオーケストラ「レ・ミュジシエンヌ・デュ・コンセール・デ・ナシオン」(2023年)といったプロジェクトも主導している。1998年に自身のレーベル「アリア・ヴォックス(Alia Vox)」を設立して以来、270点を超えるアルバムをリリース、ミデム賞、国際クラシック音楽賞(ICMA)、グラミー賞など数々の国際的な賞を受賞している。ル・コンセール・デ・ナシオンとのベートーヴェン交響曲全集録音『ベートーヴェン・レヴォリューション』は国際的な音楽メディアから絶賛され、ドイツ・レコード批評家賞の最優秀管弦楽録音賞を受賞した。加えてロマン派の作品にも力を注ぎ、新たな解釈を提示している。長年にわたる功績により、フランスのレジオン・ドヌール勲章、カタルーニャ自治州のサン・ジョルディ十字勲章および金章、さらにレオニー・ソニング音楽賞など、数々の栄誉に輝いている。また、英国ロイヤル・フィルハーモニック協会、スウェーデン王立音楽アカデミー、イタリア国立サンタ・チェチーリア音楽院の名誉会員でもある。2026年には「音楽界のノーベル賞」とも称されるエルンスト・フォン・ジーメンス音楽賞を受賞した。

ル・コンセール・デ・ナシオン[古楽オーケストラ]
Le Concert des Nations

1989年、ジョルディ・サヴァールとモンセラート・フィゲーラスが、マルク=アントワーヌ・シャルパンティエ《聖母マリアの賛歌》のプロジェクトを準備していた際に創設された。バロックからロマン派(1600～1850年)のレパートリーをオリジナル楽器で蘇らせることを目的としている。この名称はフランソワ・クープランの組曲《諸国(Les Nations)》に由来し、ヨーロッパ各地の多様な音楽文化と、啓蒙時代に育まれた共通の文化理念を象徴している。ラテン諸国出身の古楽演奏家を中心とする初のオーケストラであり、結成以来、作品本来の精神を厳格に尊重しながらも生命力と表現力に富んだ演奏を追求し、高い評価を得ている。オペラにも積極的に取り組み、ヨーロッパを代表する劇場や音楽祭で多くの作品を上演してきた。近年はハイドン《天地創造》、J.S.バッハ《クリスマス・オラトリオ》、ヘンデル《メサイア》といった大規模な声楽・交響作品にレパートリーを広げるとともに、シューマンやブルックナーの作品にも取り組んでいる。2020年にはベートーヴェン生誕250周年を記念し交響曲全曲の演奏と録音を行った。その集大成となった「ベートーヴェン・レヴォリューション」プロジェクトは、国際的に高い評価を獲得した。リリースされた多数の録音がフランスのミデム賞やドイツ・レコード批評家賞をはじめとする国際的な賞を受賞しており、同団は世界を代表するピリオド・オーケストラの一つとして揺るぎない評価を確立している。

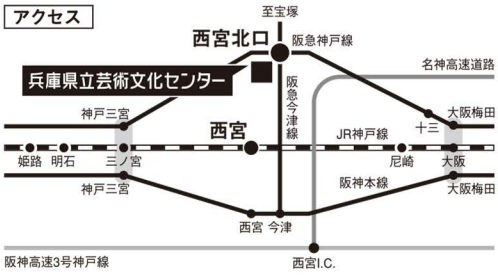
2027年 没後200年 春のベートーヴェン・プロジェクト

BEETHOVEN 200th ベートーヴェン没後200年プロジェクト

テレマン室内オーケストラ 交響曲第1番	小	3/26(金)	11月発売
尾高忠明指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団「田園」&「運命」	大	4/29(木・祝)	11月発売
仲道郁代(ピアノ)「ハンマークラヴィーア」	大	5/23(日)	12月発売

大 KOBELCO大ホール　小 神戸女学院小ホール

アクセス



◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。